

令和5年度 大賀茂小学校グランドデザイン



【児童の実態】

- ・優しく素直な児童が多い。穏やかで接し方が温かい児童が多い。
- ・仕事や学習に前向きに取り組む、役割を忠実に果たそうと努力する。
- ・異学年間の交流が活発で、協力し活動する。

【保護者・地域の実態】

- ・保護者や地域が教育活動に対して理解があり、協力的である。
- ・地域の中の学校という意識があり、学校に対する温かさがある。
- ・学校と地域との結びつきが強く、稲作活動など地域と密着した体験活動を行うことができる。

【教育行政の基本方針】

<静岡県>

- 1 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現
- 2 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現
- 3 社会総がかりで取り組む教育の実現

<下田市>

教育の理念：「下田に誇りを持ち、未来を切り拓く志をもった人」
教育目標：「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」

学校教育目標

自律し、自立できる子

<育みたい資質・能力>

- 主体性 考える力 表現する力 工夫する力
- 多様性 協働する力 異なる視点を受け入れる力
- あきらめない力 チャレンジする力

<合い言葉>

- お：オリジナルを表現する子
- あ：お友達と気持ちよく関わ合う子
- が：がんばる力を身に付ける子
- も：もっとよくなるために考え、工夫する子



校内研修テーマ：「学びを生かして、主体的に学ぶ子」

主体的に学び関わりあい、表現する子

- ① 子供理解、子供の実態から出発し、一人一人を大切に授業、校内研修の充実
 - ※学び手の視点で授業をつくる
 - ※思考の流れにそった単元構想
 - ※主体的に学ぶための学習課題の工夫
- ② 「分かる授業」「楽しいと思える授業」
 - ※授業（学習環境）のユニバーサルデザイン
 - ※ICTの活用
 - ※対話と振り返りの工夫
- ③ 総合的な学習の時間の充実
 - ※横断的な学習を意識する
- ④ 学習の習慣化
 - ※読書 ※音読会 ※朝学習 ※勉強クラブ

自ら考え、異なる視点を大切にし、協働する子

- ① 縦割り活動、異学年交流の充実
 - ※認め、励まし合う経験の蓄積
- ② 体験的活動・地域活動参加による社会性の育成
 - ※地域の人材を活かした体験（稲作・パン作り・伝統工芸等）
 - ※下田市体験プログラムの有効活用（宿泊体験、ジオ学習、地域探検等）
- ③ 安全指導の充実と判断力の熟成
 - ※集団下校の活用
 - ※自ら考え判断する安全指導の実施
 - ※カリキュラムマネジメントの視点での安全指導
 - ※実生活に生かせる避難訓練の実施

めあてに向って、あきらめずチャレンジする子

- ① めあてを明確にし、失敗を生かし工夫して挑戦する力が育つ場の設定
 - ※身に付けるべき資質・能力の明確化と共有
 - ※挑戦する過程を重視し、意欲を認める支援
- ② 進んで運動し、共に高めあい、達成感や満足感を味わう雰囲気作り（朝の運動・体育的行事）
 - ※意欲やがんばりが目に見える掲示やカード等の工夫
- ③ 健康や成長について理解し考える機会の設定
 - ※養護教諭の授業参加、測定時のミニ講話等（全員出席の日100日以上）

肯定的な子供観に基づいた教育 子供一人一人が**所属感**を持ち、**多様性や互いの良さを認めあえる**学級・学校作り
特別支援教育の視点に立った支援、環境整備（SC、SSW、外部機関との連携）

こんな視点で 取り組みたい

大賀茂小の子供のよさを伸ばすために（前年度の評価から）

- ・自分の考えを自分の言葉で伝える、主体的に行動し振り返る習慣を身に付ける
- ・互いに声を掛けあい、言いあえる人間関係を大切にする（縦割り活動・複式学級）
- ・異なる見方、異なる環境に触れる機会を設定する
- ・教師間の共通理解のもと、子供に任せる機会を増やす

家庭との連携・協働

- 基本的な生活・学習習慣の定着
- 自己肯定感の育成
- 家族としての役割意識・規範意識の熟成
- 家庭読書の充実・強化
- PTA活動等での縦と横のつながりの強化

地域との連携・協働

- 地域人材の活用（ゲストティーチャー、協力員、どんぐりの詩）
- 家庭地域と連携した安全、防災教育の強化（地域防災訓練への参加・防災情報共有）
- 学校間（幼保こ、小小、小中）の連携
- 朝日地区育成会との連携

評価・検証

- 学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）→学校評価会議→学校評議員会→情報発信
- 教職員人事評価（学校経営目標に合わせた自己目標設定、手立て、面談など）

教師の姿<子供とともに学び続ける教師>

- ① 子供に対する理解を深め、健やかな成長を支援する。
- ② 子供への教育的愛情と教育に対する使命感を持つ。
- ③ 社会情勢の変化を敏感に捉え、教育に関する専門的知識を更新し、子供に確かな学力を育む。
- ④ 日々の生活の質や教職人生を豊かにし、広く豊かな教養、多様な価値観を身に付ける。
- ⑤ 職員、保護者、地域の人々と協力しあい、多様な課題に柔軟に対応する。